

学校関係者（学校評議員）による評価

【学習指導に関して】

- ・アンケート結果にもあるように、どの学級の授業も真剣に話を聞いているし、落ち着いている。
- ・話を聞く姿勢は、いつ参観してもよい姿であるし、昨年度の姿が継続できている。
- ・「自分の考えや意見を発表することが得意だ」と思っていない生徒が多いが、それは自分の考えがあっても喋れないということだろうか。考えをもてていないのだろうか。教師が考えをもたせる工夫をしているか。よりきめ細かく分析して指導していく必要があるだろう。
- ・「家で自分で計画を立てて勉強している。」生徒が2年生で少ない。いわゆる2年生の中だるみが数値に表れているのだろうか。
- ・親の期待値は高いので、親の評価が低いのは当たり前かもしれない。「自分の考えや意見を発表することが得意」と考えている生徒がまだまだ少ない。

【生活指導に関して】

- ・挨拶はよくできている。知っている人にはできるが、知らない人にはどうだろう。ただし、最近の風潮として知らない人に挨拶してよいかどうかが難しくもある。
- ・まじめな態度で授業や学校行事に取り組んでいて、話もしっかり聞くことができる。一方で、「学校へ行くのが楽しい」と思っている生徒が100%にならないのは「まじめな生徒」の裏返しの表れかもしれない。まじめに我慢するだけでは楽しくはないかも。
- ・目標値が100%なのはちょっと無理かも。学校が楽しくない生徒がいるのも当たり前。中学生は悩む時期であり、大人がそれを認めてやることも必要かもしれない。楽しくないけど、がんばって学校に来ている。それを褒めてやることも大切。
- ・学校が楽しくないという生徒が、具体的に何が楽しくない原因なのかをきちんとつかんで解決できるようにするのが大人の役目。
- ・「いじめはどんな理由があってもいけない」についてはほぼ100%だが、大人から見えないいじめが心配。生徒のSOSを親として、教師として気付ける方策をみんなで考える必要がある。

【特別活動指導について】

- ・生徒会の自主的な活動が感じられた。自分たちで行事をつくっている感じがする。生徒会の代表生徒が、堂々と話す姿、原稿を読むのではなく暗記して自分の言葉にして話す姿には「表現力」が身に付いていると感じた。
- ・「自分には良いところがあると思う。」の回答については、2、3年生が昨年よりアップしているのはよいことだ。
- ・自己肯定感がないのが「学校が楽しくない」の原因かもしれない。
- ・「将来の夢や目標をもっている」の回答については、3年生が一番高いが、3年生のこの時期に79%では心配である。3年生の2割がもててないようではいけないのでは。

【健康安全指導に関して】

- ・自転車の交通マナーもよくなっている。生徒の98%が交通マナーを守っているという結果は、そのまま評価できないが、以前に比べると向上している。交通ルールは守っているが、マナーについての意識は不十分ではないだろうか。

【その他】

- ・中山道赤坂祭りに中学生が協力してくれて助かる。中学生の力は大きい。今後も積極的に地域行事に参加してくれることを望む。
- ・子ども会を担当している立場からのお願いとして、子ども会や地域行事への中学生の参加があまりない。学校だけでなく、地域でももっとがんばって欲しい。

次年度の改善の重点

【学習指導に関して】

- ・基本的な学習規律を身に付いている。話をしっかりと聴き、学ぼうとする生徒が多い。しかし、本年度の重点として取り組んできた「話す」という点で成果が見られない。来年度も継続して取り組みつつ、以下の点について重点として取り組む。
 - ① 「赤坂中学校の授業これだけは！」を意識して生徒が主体的・対話的で深い学びのできる授業改善をめざす。
 - ② 生徒が発言しやすい学習集団の醸成（人間関係づくり）に努める。
 - ③ 教科の授業以外の場、例えば朝・帰りの会、道徳の時間、総合的な学習の時間などでも、学級担任が「話す力」を伸ばすために、意識して学習集団の向上を図るように努める。

【生徒指導に関して】

- ・すべての生徒が「学校に行くことは楽しい」と思えるように、人間関係を形成する力やそのためにコミュニケーション能力、安心して生活できる規律づくりを図る。
 - ① 「赤中人権宣言」をもとに、適切な人権感覚を身に付けた生徒を育成する。
 - ② いじめ防止に関わる研修の実施と組織的な取組の充実に努める。
 - ③ 正しい判断力・行動力を身に付けるための指導の充実に努める。

【特別活動に関して】

- ・より主体的な生徒の活動を生み出すために、生徒会活動や学級活動の充実と活性化を図り、生徒の活躍の場を生み出す。
 - ① 生徒会組織、委員会組織、学級組織の見直しと活性化
 - ② 生徒の主体的な活動を生み出し、やり遂げる成就感を味わわせる。
 - ③ 自己肯定感をもてるように、自分の存在意義を感じられるような指導を行う。
 - ④ 将来の夢や目標をもてるように、キャリア教育を充実させる。

【健康安全に関して】

- ・登下校時の安全指導の充実に努める。
 - ① 交通事故防止、安全な登下校に関わる取組 特に自転車利用時の安全指導
 - ② 命を守る訓練などで様々な場面を想定した安全指導の実施
 - ③ 自分たちの生活の中の安全意識、危機管理意識、適切な判断力を身に付けた生徒の育成